



教育関係者・事業者部門
《農林漁業者等》

消費・安全局長賞

石坂ファームハウス

(東京都) 活動期間 23年

都会の田舎おすそわけ ～東京で農業をまるごと体験～

我が家にあるものを 無駄なく体験してほしい

減少する都市農地にあって、400年続く農家ができること…。レジャーではない農業について、雑木林・田んぼ・畑・古民家のある庭をフィールドに、年間を通して体験の場を提供し、学びにつなげる活動です。農家ならではの豊作を願う伝統行事や伝統食、大鍋料理の調理・共食体験など「農家の暮らし体験」も併せて提供しています。



小学生の稲刈り体験の様子

「農家の暮らし」を味わう

種まきや植付け→育てて→収穫して→食べる、一連の農業体験はもちろん、大鍋で汁物を調理してみんなで食べるなど、食べる喜び、楽しさを味わう体験は、子供たちの笑顔であふれています。体験の場にある手押し井戸で泥付きの野菜を洗い、雑木林の枝拾いをしてかまどでご飯炊き。昔の生活も同時に体験できます。また、農作業や行事を通して、地域住民のコミュニケーションの場ともなっています。



“よいしょ” お餅つき体験

五感をフルに使う体験

「東京に雑木林・田畑・古民家という風景がある」ことを感じることも貴重な学びの場。野外での広いフィールドで「暑さ・寒さ」「鳥の声」「空の色」「草花」など、五感をフルに使って学べるよう、体験時には作業に集中しすぎず、顔を上げ、耳を傾けるよう声かけを行っています。その季節ならではの山椒の葉をつまんだり、ニラとスイセンの違いを教えたり。「春夏秋冬」変わる風景が訪れる子供たちの楽しみにもなっています。



木々に囲まれた畑

柿の木と青空



どのように育ち実るかを見て収穫すると、驚きや感動と興味を持ちます。新鮮な野菜の味や香りを知ります。亡夫は『食べることは生きる事、それは旬の野菜を食べる事』と言いました。今後も、娘と活動を続けていきたいです。

石坂ファームハウス 石坂 昌子
石坂 亜紀